

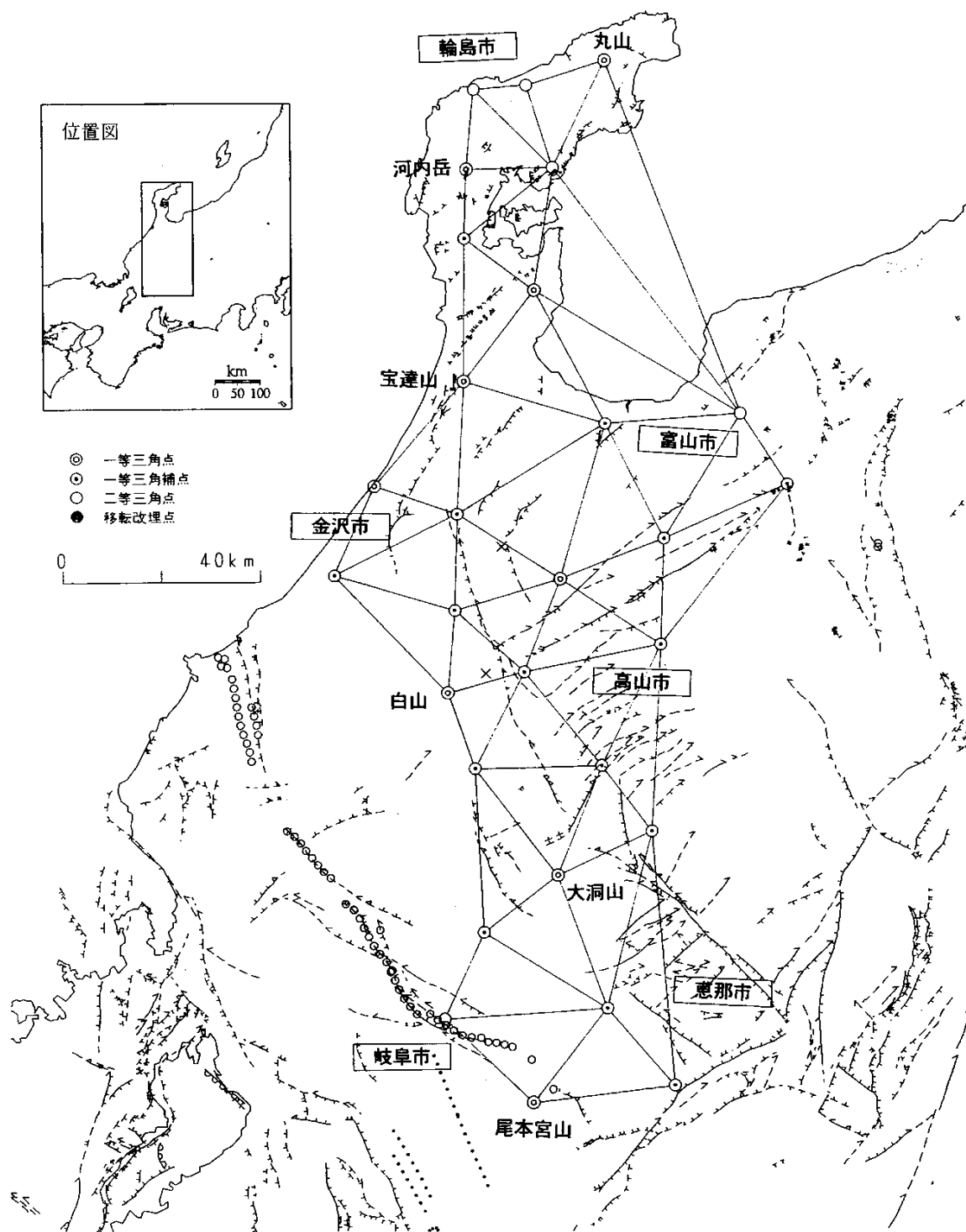
### 6 - 3 北陸地方の地殻変動

#### Crustal Movements in the Hokuriku District

国土地理院

Geographical Survey Institute

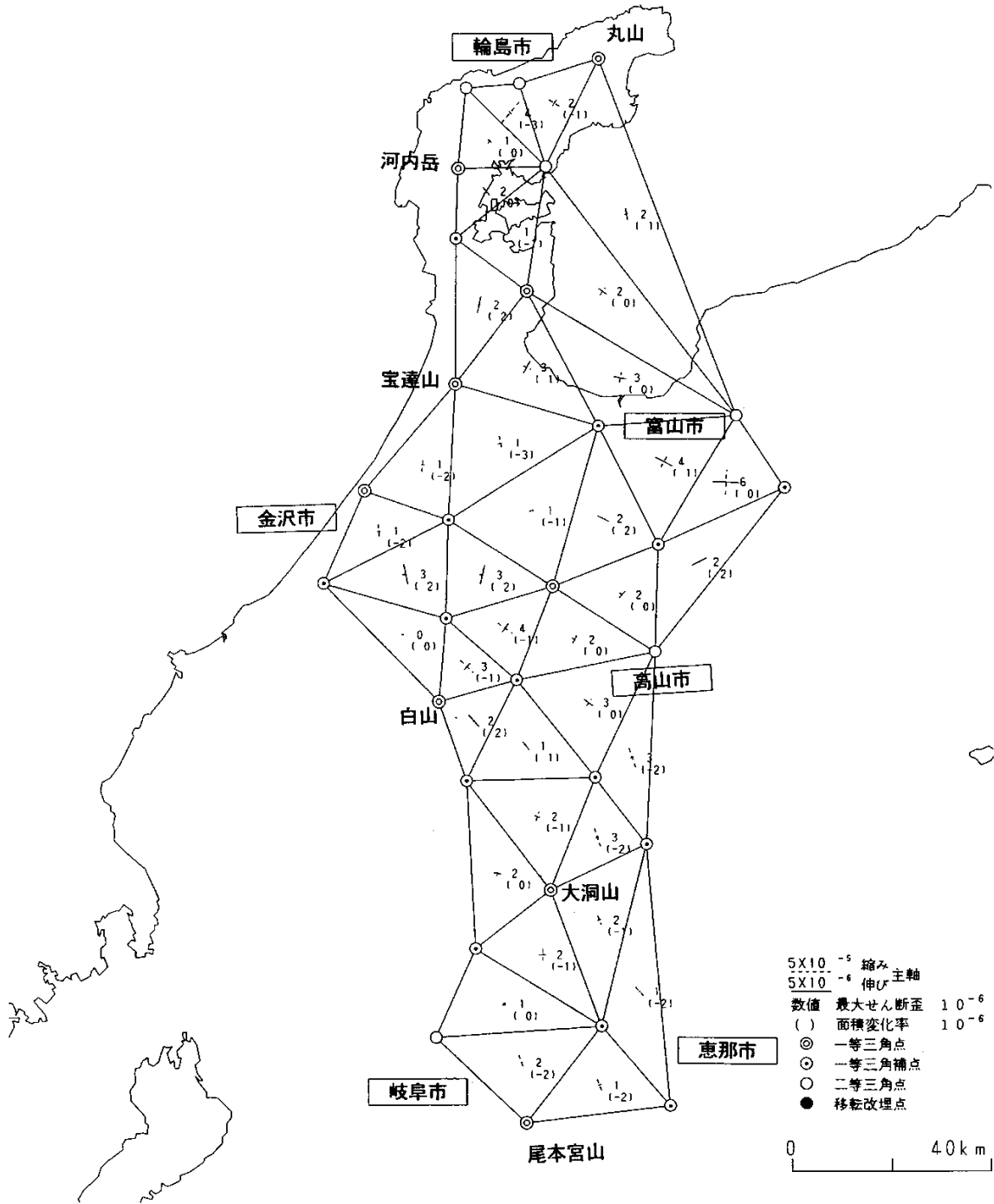
第1図は、三角測量、三辺測量およびGPSによる測定の比較により求めた能登及び岐阜地方の水平地殻歪みである。最近の約10年間では、蓄積した歪みの大きさは $1 \sim 2 \times 10^{-6}$ 程度であり、軸の方向については期間が短いせいかなり系統性は見られない(第1図(2))。この20年間では、 $2 \sim 4 \times 10^{-6}$ 程度であり、北西南東方向の短縮の傾向がより顕著となる(第1図(3))。明治時代の成果と比較した約100年間の歪みの蓄積は $10 \sim 40 \times 10^{-6}$ 程度であり、北西南東方向の短縮の傾向がさらに顕著である。



第 1 図(1) 能登および岐阜地方の水平地殻歪み (1)

Fig.1(1) Horizontal Crustal Deformations in Noto and Gifu districts (1).

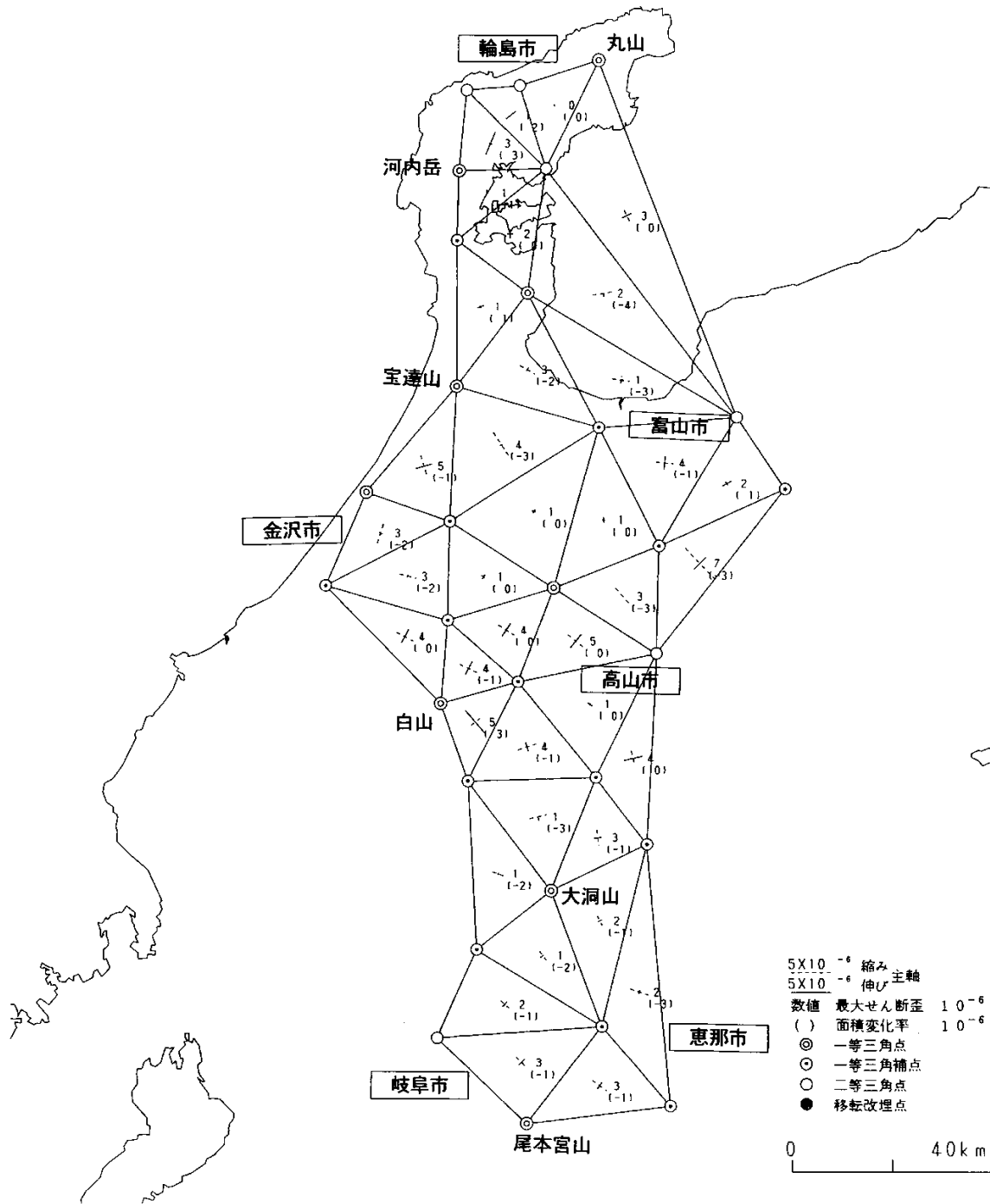
高度基準点測量1回目 (1998) ———— 一次網2回目 (1986~1988)



第1図(2) 能登および岐阜地方の水平地殻歪み(2)

Fig.1(2) Horizontal Crustal Deformations in Noto and Gifu districts (2).

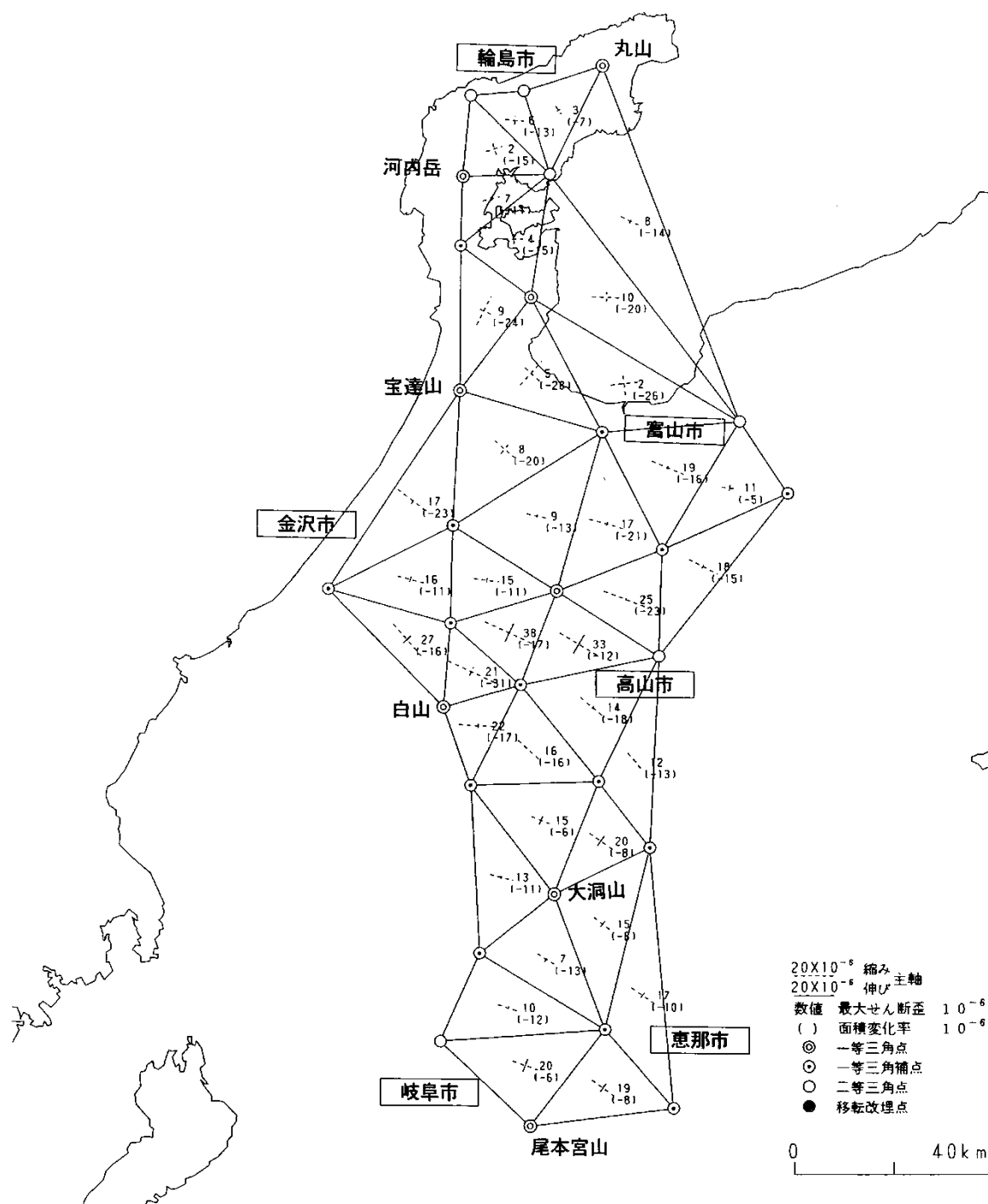
高度基準点測量1回目 (1998)      一次網1回目 (1979~1984)



第1図(3) 能登および岐阜地方の水平地殻歪み(3)

Fig.1(3) Horizontal Crustal Deformations in Noto and Gifu districts (3).

高度基準点測量1回目 (1998) ———— 明治 (1893~1899)



第1図(4) 能登および岐阜地方の水平地殻歪み(4)

Fig.1(4) Horizontal Crustal Deformations in Noto and Gifu districts (4).